

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	本人や家族の意向、要望に沿った介護計画書の作成に努めるようにしていますが、ニーズの把握、身体状況の大きな変化等においての職員間の会議サービス内容の確認、モニタリングが不十分のため介護計画書に反映できていない事がある。	個別のニーズを把握し、意向、要望、地域で暮らし続けるための介護計画作成、状態変化時の会議開催による職員間のサービス内容の確認。計画書に反映できるようにします。	本人、家族の意向、要望、ニーズを把握した上で介護計画の作成。状態変化等における随時の介護計画書の見直し。カンファレンス、モニタリングを定期的に開催できるようにします。	6ヶ月
2	13	災害対策マニュアル、スプリンクラー、防災設備の設置。年2回の業者による設備点検実施。2回以上の消防署立会いによる防災訓練を行っていますが、地域住民の協力体制には至っていない状況ですので、地震や台風災害についても訓練の必要性を痛感しています。	災害から利用者、職員の生命の安全を守る。火災問題に止まらず、地震、暴風水害にも目を向け地域支援体制を整備できるようにします。消防署からの総評を振り返り、職員全体で確認し合い、災害対策についての知識を身につける。	兼城自治会加入しています。地域主催する防災訓練に参加。その他行事にも協力できるようにしていきます。まだ、住民との関わりが少ないので、自治会長(運営推進委員)を通して施設での勉強会開催の住民参加の声かけ。連絡網の作成。災害時の備蓄の確保。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。